

「農商工連携及び地域資源活用による事業化セミナー」を開催しました

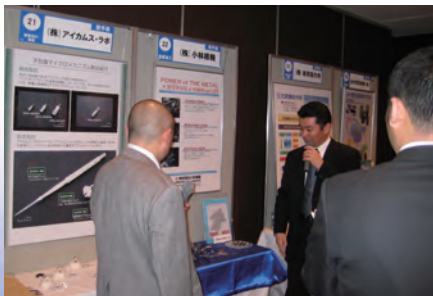
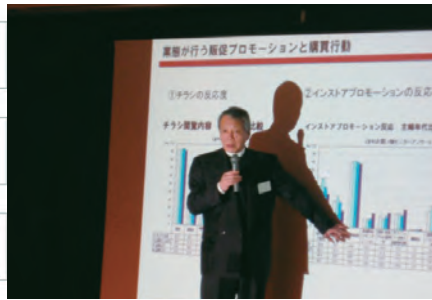


岩手県内では、中小企業者と農林漁業者との有機的な連携による「農商工連携」、地域の産業資源を活かした商品開発等の「地域資源活用」への企業経営による取組みが積極的に事業展開されております。「農商工連携」と「地域資源活用」による前向きな取組み事例を情報共有するとともに、地域の強みを活かした商品開発やマーケティングについて、実践的な研修を目的として、2月16日(水)にホテルルイズ(盛岡市)にて、「農商工連携及び地域資源活用による事業化セミナー」を開催しました。

高千穂大学理事・大学院教授で(株)マーケティング総合研究所代表取締役の新津重幸氏に「商品開発に向けての実践的マーケ

ティングと販路展開」という演題にて、実践的・実務的ご講演をいただきました。また、「農商工連携」及び「地域資源活用」事例を4事業者((株)浅沼醤油店、きのこのSATO販売(株)、浄法寺漆産業、(株)浦嶋商店)の方にご発表いただき、引き続き、パネルディスカッションにもご参加いただきました。セミナーご出席の皆さんからは具体的でわかりやすく、実践的な講演・発表だったとの声を多くいただきました。

来年度につきましても、より実践的で実務に繋がるセミナーを開催予定です。



第1回 北東北ものづくり 医療機器産業交流会の開催

いわて医療機器事業化研究会をはじめとする、北東北3県の医療機器ネットワーク等が主催し、2月25日(金)、盛岡市内のホテルで開催いたしました。本交流会は、医療機器産業分野・健康福祉分野における事業化を目指す北東北3県の企業広域の企業間連携を促進させ、新規事業の足がかりとすることを目的として開催しました。

本交流会では北東北3県の企業が自社の技術を表示によってアピールしました。また、交流会では、岩手医大外科学講座の新田浩幸講師ら3人の臨床医師による特別講演を開催し、医療機器開発や「医工連携」などについて講話されました。

北東北3県の30社が出展し、約100名が来場されました。今後、県境を越えて互いに補完、連携することで、素晴らしい技術を持つ企業の開発力のさらなる高まりが期待されました。